

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業費(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体金額	申請金額	交付金額
1	がんぼろう日本 地域をつなぐ『ふちのべ銀河まつり』実行委員会	がんぼろう日本 地域をつなぐ『ふちのべ銀河まつり』(音楽やダンスで結ぶコミュニティー)	<p>ふちのべ銀河まつりについては、平成21年度までは商店街を中心に実施していたものから、昨年度より、地域活性化事業交付金を活用し、地域を主体としたイベントとして実施していくこととなりました。</p> <p>本年度は、大野北地区自治会連合会にもご協力をいただき、地域自治会の皆さんとのさらなる関わりを強めるとともに、出演する参加団体や出店者団体の皆様方も自ら実行委員となり、地域に根ざしたイベントとして取り組んでまいります。</p> <p>また、今回は、3月11日の東日本大震災を受け、“がんぼろう日本”を冠に、義援金箱の設置や、出店者からの売り上げの一部の寄付を行うなど、復興支援にも努めていきたいと考えています。</p>	<p>地域や参加団体からなる実行委員会を組織し、団体間の交流を図り地域の一体感を創りだします。さらに参加団体の出演する子供たちにも、地域の一員だということを感じてもらい、希薄になった隣近所を改めるきっかけ作りになればと考えております。</p> <p>近隣住民の絆作り、地域のつながりを強め、大野北の活性化になるものであり、さらに、大野北の文化の向上を目指し、これを開催するものであります。</p>	<p>淵野辺駅前にステージを作製し、大野北地区内の幼稚園・中学・高校・大学等の園児・学生の音楽等を中心とした集まりの発表会や、地区内の各種サークル(よさこい・キッズダンス・ヒップホップ・チアリーダー・ダンス)の競演など、幼児から年配の方までが、世代の壁を越えて、世代間交流を実現します。夜には、プロの演奏等で、夏の夜にひと時の憩いを創りだします。</p> <p>広場では国際留学生会館の学生や麻布大学、桜美林大学の学生、地域商店街の模擬店も出て、ステージ前に賑わいを作ります。会場で出たゴミは徹底した分別を麻布大学の学生サークル(ジーナ)の協力により行ないます。</p>	H23.7.19	3,266,614	1,300,000	1,300,000
2	自治会法人淵野辺自治会活性化委員会	自治会活動活性化事業	<p>平成22年度に同交付金による事業活動により、子どもと老人、有志の方と今までにない地域の交流ができ、会員の皆様から感謝の言葉を頂いた。また、「自治会員でよかった」「自治会に加入したい」という声もあり、23年度は新たに6世帯の加入増加が見込まれる予定である。今年度も更に地域の活性化を図っていききたい。</p>	<p>地域の子どもたちに広く呼びかけを行い、各種の事業に参加してもらい、防災意識の高揚や高齢者等とのふれあい等を通じ、地域活動の楽しさ、地域コミュニティーの大切さを理解してもらう。</p> <p>また、そうした子どもたちの参加により、自治会に加入していない方にも自治会活動を理解してもらえる機会にもなる。こうした事業を実施することにより、子どもから高齢者まで、誰もが参加できる自治会活動を展開し、自治会加入促進及び地域の活性化を図っていくことを目的とする。</p>	<p>① 鯉のぼり絵描き教室(5月1日～5日):手作り鯉のぼりの作成と展示 ② 七夕まつり:(7月2日～7日):七夕飾りの作成 ③ 缶炊飯(7～8月):地域の子どもたちを淵野辺本町公園に集め、デイキャンプを実施し、空き缶を利用した飯炊きを行うことを通じて、防災意識の高揚を図る。 ④ ゲートボールと子どもの交流会(10月15日):子どもたちが高齢者に呼びかけ、世代間交流によるゲートボール大会を実施する。 ⑤ もちつき大会(1月9日):賀詞交歓会の際に、子どもたちに餅をつきあげる実感を味わってもらう。 ⑥ 教室:パソコン(月3回)、書道(月2回)、そろばん(月2回)、映画(年6～10回)、筋トレ、ストレッチ(月1～2回)、工作(7～8月)、クリスマス・正月飾り(11月、12月)</p>	H23.8.22	210,000	150,000	150,000
3	相模原スカイハイツおしゃべりサロン	相模原スカイハイツおしゃべりサロン事業	<p>平成20年に諸事情により、デイサービスに通うことができない自治会内の高齢者を対象にボランティア6名により、気軽に集い、お話ができるようにとおしゃべりサロンを立ち上げた。参加者は当初6人であったが、現在は13名になり利用者も増えてきた。更に利用者及び地域における担い手を増やしていきたい。</p> <p>高齢者が元気で楽しく生きがいを感じるきっかけとなるよう仲間や子どもたちとの交流を深めるとともに、交流の場を提供し、健康増進を図ることを目的とする。</p>	<p>高齢者の体力の低下や生きがいの喪失、交流の場の不足等を解消し、元気で楽しく生きがいを感じるきっかけとなるよう仲間との交流の場を提供するとともに健康増進を図ることを目的とする。</p>	<p>諸事情により、デイサービスに通うことができない自治会内の高齢者を対象に気軽に集い、お話ができるようにとおしゃべりサロンという場を設け、交流の場の不足等を解消するとともに健康増進を図る。</p> <p>月1回第2水曜日に体力低下の防止と健康増進を図るために、簡単な体操を行うほかお花見などの行事をおこなう。また、年に2、3回高齢者の方が子どもたちと一緒に竹とんぼや凧などの作成を行う。</p>	H23.9.9	22,000	10,000	10,000

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業費(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体金額	申請金額	交付金額
4	共和憩いの会	憩いの場(活いきの場)運営事業	高齢者をはじめとした地域住民が気軽に参加できる憩いの場を設け、参加者相互で談話を楽しんでもらうほか、既存趣味サークルの活動実績を活かしながら、地域コミュニティの輪を広げることができればと思います。	少子高齢化が進み、高齢者像や高齢者観が変化し、今までの福祉の担い手から地域での高齢者福祉の担い手としての役割が求められてきている。そうした背景から、新たなグループ活動として、「憩いの場」を設け、既存の趣味サークルの活動実績を活かしながら、地域住民が自由に参加できる場づくりを行い、住民間のつながり、絆を深め、地域の活性化を図ることを目的とします。	自治会館や神社の境内において、高齢者をはじめとした地域住民が気軽に参加できる憩いの場を設け、参加者相互で談話を楽しんでもらうほか、既存趣味サークルの活動実績を活かしながら、囲碁・将棋、カラオケ、グラウンドゴルフ等の活動を展開します。 また、今年度は「いきの場」に集っていただくため、新たにシルバーライフの楽しみ方や防災についての講演を行う予定です。	H23.8.22	72,674	10,000	10,000
5	大野北公民館ツリー倶楽部	大野北地区地域こどもふれあい事業	大野北地区内には、桜美林大学、青山学院大学、淵野辺商店会など淵野辺駅北口を中心に、クリスマスイルミネーションが展開されている。駅南口側のまちづくりセンター・大野北公民館敷地内のもみの木にイルミネーションを行い、大野北地区の冬の年中行事として定着化させ、地域イベントとして青少年の健全育成に努める。	本倶楽部では、大野北まちづくりセンター・大野北公民館と連携を図り、敷地内に設置されたもみの木を活用し、クリスマスシーズンに電飾を行い、地域活性化と併せ、次世代を担う子どもたちや地域の方々の憩い・ふれあいの拠点づくりの場とする。	倶楽部では、地区内の冬のシンボル事業として、まちづくりセンター・大野北公民館敷地内のもみの木にイルミネーションを行う。実施期間は12月3日(土)～12月23日(金)午後5時から9時45分まで。	H23.9.16	330,000	330,000	330,000
6	体育指導委員大野北地区協議会	大野北地区地域コミュニティづくり及び健康づくりの増進事業	市民に対する生涯スポーツ教室を年間3回体育指導委員が講師となって実施したが、年々参加者が減少してきており、スポーツによる健康づくりが難しくなっている。 そのため、どんなスポーツなら行いたいかというアンケート調査を実施した結果、ハイキングが上位に選ばれた。 また、アンケートを分析した結果、スポーツをやっていない人は他人との競争や団体と一緒にやることを好まない傾向がみられた。 このため、多くの人が参加しやすい体育事業のあり方を検討していかなければならないと考え、ハイキングであれば誰でも気軽に参加でき、健康づくりとコミュニティづくりが一緒にできると考えた。	ハイキングを通して地域コミュニティの構築に少しでも貢献できればと思います。 また、山へ登ると同じ目的を持った者同士で、達成感を味わうことが連帯感につながり、自らスポーツすることへの関心が高まるきっかけとなり、更には、新しいハイキングを楽しむクラブなどの発足につながって欲しいと期待します。	ハイキング事業の実施(11月13日(日)) 雨天中止 ・場所:陣馬山(歩行約3時間 総行程約7時間30分) ・募集:30名 ・雨天時:藤野芸術の家の見学等	H23.9.9	100,000	100,000	100,000

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業費（単位：円）		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体金額	申請金額	交付金額
7	大野北地区史跡を守る会	大野北地区地域史跡マップをつくる事業	<p>大野北地区は、市内でも史跡・名所が多く、本会では昨年、子どもたちの郷土愛醸成を目的に史跡表示板を設置し、歴史を学ぶことができるよう取り組みを行った。</p> <p>今年度は、史跡表示板を設置した史跡・名所等を含め史跡等の案内マップを作成し、大野北地区の自治会及び小学校（4校）への配布を行い、郷土愛醸成を高める。</p>	<p>次代を担う子どもたちや地域の人に史跡・名所等を通じて、郷土愛の醸成を目的とする。</p>	<p>史跡等の案内マップ作成し、大野北地区の自治会及び小学校（4校）への配布を行い、郷土愛醸成を高める。</p>	H23.10.4	210,000	210,000	210,000
							4,211,288	2,110,000	2,110,000